

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	キルパー
会社	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
FAX番号	03-3245-6084
緊急連絡先情報	農業化学品事業部普及部
電話番号	03-3245-6178
SDS作成日	2006年04月07日
SDS改訂日	2023年06月06日(07版)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	急性毒性（経口）	区分4
	急性毒性（経皮）	区分4
	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2B
	皮膚感作性	区分1
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2（血液）
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3（気道刺激性）
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分1

ラベル要素

絵表示（GHS JP）



注意喚起語（GHS JP）

: 警告

危険有害性（GHS JP）

: 飲み込むと有害
皮膚に接触すると有害
皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害のおそれ（血液）

水生生物に非常に強い毒性
 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き (GHS JP)

- 安全対策** : 使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は顔、手をよく洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 応急措置** : 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
 口をすすぐこと。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 漏出物を回収すること。
- 保管** : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。
- 廃棄** : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
 一般名 : メチルジチオカルバミン酸ナトリウムを含有する水溶液

化学名	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
メチルジチオカルバミン酸ナトリウム	33.0	末尾に記載	(2)-1797	なし(公表化学物質扱い)	137-42-8

《水》

含有量 67.0%

《メチルジチオカルバミン酸ナトリウム の別名》

カーバムナトリウム塩

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴を直ちに脱ぐこと。
多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
医師の診察／手当てを受けること。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療：対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：霧状の水
炭酸ガス消火剤
粉末消火剤
泡消火剤
- 使ってはならない消火剤：棒状放水。
- 火災危険性：燃焼によって有毒ガスを生成する。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。
- 消火方法：火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
消火作業は風上から行う。
周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。
移動できない場合、容器に放水し、冷却する。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護：自給式呼吸器および防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置：作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
人を退避させ、飛散・漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行う。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

十分な換気を確保する。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項
- : 排水溝または水路への侵入を防ぐ。
 - : 希釈水は汚染を引き起こすおそれがある。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法
- : ウェス、スコップ等でできるだけ空容器に回収する。必要なら砂等をまいてできるだけ回収する。
- 二次災害の防止策
- : 特になし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策
- : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項
- : 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。
皮膚、目、あるいは衣服との接触を避ける。
取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意すること。
本剤取扱い後の器具の金属部分は腐食される場合があるので、十分水洗いすること。クロルピクリン、D-D 及び両者の混合剤とは、化学反応を起こし発熱する又は沈殿を生じ器具の孔詰まりを生じる場合があるので、これらの剤とは混合して使用しないこと。またクロルピクリン、D-D 及び両者の混合剤を使用した器具は、灯油などで十分に洗い、乾燥後本剤を使用すること。また本剤を使用した後は器具は必ず水洗し乾燥した後に使用すること。また本剤が器具中に残っているとこれらの他剤を加えることのないように注意すること。
- 接触回避
- : 「10. 安定性及び反応性」を参照のこと。

保管

- 安全な保管条件
- : 容器を密閉し、直射日光を避け、冷涼な場所に保管すること。
施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに置くこと。
酸化剤から離して保管すること。
- 安全な容器包装材料
- : 情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

《メチルジチオカルバミン酸ナトリウム のデータ》

厚生労働省

管理濃度	: 設定されていない
日本産業衛生学会	
許容濃度(産衛学会)	: 第3種粉塵：吸入性粉塵 2mg/m ³ 、総粉塵 8mg/m ³
年度	: 2021
ACGIH	
許容濃度(ACGIH)	: 設定されていない
年度	: 2021
設備対策	: 屋内使用の場合、局所排気装置を設置する。 取扱場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置する。
呼吸用保護具	: 防塵マスク 農薬用マスク
手の保護具	: 不浸透性手袋
眼の保護具	: ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	: 不浸透性防除衣 ゴム長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
形状	: 水溶性液体
色	: 黄色
臭い	: 硫黄物臭
臭気閾値 [ppm]	: データなし
pH	: 10 (100ppmの場合：8~9)
蒸発速度 (酢酸ブチル=1)	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: < 0 °C
沸点	: > 100 °C
引火点	: 引火点なし (タグ密閉式)
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 非該当
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 1.15 g/cm ³ (25°C)
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水：冷水、温水共に易溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
爆発限界 (g/m ³)	: データなし
粘性率	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件下では安定である。 50℃で30日以上安定である。
危険有害反応可能性	: 過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件	: 直射日光。高温。熱。
混触危険物質	: 強酸。強酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 酸性化すると、二硫化炭素、ジメチルアミンが発生する。 熱分解で硫化水素の蒸気が発生する。 火災時に、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、メチルイソシアネートが発生する。
その他の性質	: アルミニウムに対して腐食性がある。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 飲み込むと有害 下記データから、区分4とした。
急性毒性（経皮）	: 皮膚に接触すると有害 下記データから、区分4とした。
急性毒性（吸入）	: 区分に該当しない（分類対象外）（気体） 分類できない（蒸気） 分類できない（粉じん、ミスト）

キルパー	
LD50 経口 ラット	1170 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	1470 mg/kg

皮膚腐食性/皮膚刺激性	: 皮膚刺激 区分2のメチルジチオカルバミン酸ナトリウムを濃度限界値の10%以上含有するため、区分2とした。
-------------	---

キルパー	
pH	10 (100ppmの場合：8～9)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 眼刺激 区分2Bのメチルジチオカルバミン酸ナトリウムを濃度限界値の10%以上含有するため、区分2Bとした。
------------------	--

キルパー	
pH	10 (100ppmの場合：8～9)

呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 区分1のメチルジチオカルバミン酸ナトリウムを濃度限界値の1.0%以上含有するため、区分1とした。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

管理番号：N0-6592301

- 生殖毒性 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
 区分2のメチルジチオカルバミン酸ナトリウムを濃度限界値の3.0%以上含有するため、区分2とした。
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 臓器の障害のおそれ(血液)
 呼吸器への刺激のおそれ
 区分2(血液)のメチルジチオカルバミン酸ナトリウムを濃度限界値の10%以上含有するため、区分2(血液)とした。区分3(気道刺激性)のメチルジチオカルバミン酸ナトリウムを濃度限界の20%以上含有するため、区分3(気道刺激性)とした。
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
- 誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

- 水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に非常に強い毒性
 区分1(毒性乗率=1)のメチルジチオカルバミン酸ナトリウムを濃度限界値の25%以上含有するため、区分1とした。
- 水生環境有害性 長期(慢性) : 長期継続の影響によって水生生物に非常に強い毒性
 メチルジチオカルバミン酸ナトリウムは急速分解性がないと推定される。区分1(毒性乗率=1)のメチルジチオカルバミン酸ナトリウムを濃度限界値の25%以上含有するため、区分1とした。

キルパー	
LC50 - 魚 [1]	0.175mg/l(ブルーギル、96hr)l(メチルジチオカルバミン酸ナトリウムのデータ)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	データなし

メチルジチオカルバミン酸ナトリウム (137-42-8)	
LC50 - 魚 [1]	0.35 mg/l (コイ、96hr)
EC50 - 甲殻類 [1]	0.279 mg/l (48hr)
ErC50 藻類	3.22 mg/l (Selenastrum capricornutum、96hr)
NOEC 藻類 慢性	1 mg/l (Selenastrum capricornutum、96hr)

残留性・分解性

キルパー	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

キルパー	
生体蓄積性	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	データなし

土壌中の移動性

キルパー	
土壌中の移動性	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	データなし

オゾン層への有害性

- オゾン層への有害性 : 分類できない
- オゾン層への影響 : モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。
- その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
 処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
- 汚染容器及び包装 : 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。
 容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

- 海上規制情報 : IMOの規定に従う。
- 航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。
- 国連番号 : 3082
- 正式輸送品名 : 環境有害物質 (液体)
- 国連分類 : 9
- 容器等級 : III
- 海洋汚染物質 :



適用される

国内規制

- 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
- 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

特別な輸送上の注意

- 荷役中の取扱いは慎重丁寧に行い、転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。
 輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起らないように積載・輸送する。
- 消防法の危険物ではないが、消防法第1類との混載は避ける。

その他の情報

- 補足情報なし。

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	： 【改正後 令和7年4月1日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） メチルジチオカルバミド酸ナトリウム（別名メタムソジウム） 【改正後 令和7年4月1日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） メチルジチオカルバミド酸ナトリウム（別名メタムソジウム）
毒物及び劇物取締法	： 非該当
消防法	： 非該当
海洋汚染防止法	： 個品運送P（施行規則第30条の2の3、国土交通省告示） カーバメート系殺虫殺菌剤類（固体）（毒性のもの） 有害液体物質（X類物質）（施行令別表第1） N-メチルジチオカルバミン酸ナトリウム塩溶液
外国為替及び外国貿易法	： 輸出貿易管理令別表第1の16の項 有機硫黄化合物
水道法	： 有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号） ナトリウム及びその化合物
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	： 第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） N-メチルジチオカルバミン酸ナトリウム（別名メタムナトリウム塩）（管理番号：740）（33%）
農薬取締法	： 該当

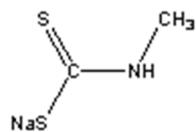
16. その他の情報

引用文献	： 購入先 SDS NITE(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) CHRIP GHS 分類結果 農薬登録資料
------	---

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人 日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）	
中毒110番 一般市民専用電話	（大阪） 072-727-2499（情報料無料） 365日24時間対応
	（つくば） 029-852-9999（情報料無料） 365日9～21時対応
医療機関専用有料電話	（大阪） 072-726-9923（1件2000円） 365日24時間対応
	（つくば） 029-851-9999（1件2000円） 365日9～21時対応
医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、 情報料1件につき2,000円を徴収します。	



CAS 番号 : 137-42-8

化学名 : メチルジチオカルバミン酸ナトリウム